

消防・外郭団体

川越地区消防組合
川越市土地開発公社
公益財団法人 川越市施設管理公社
社会福祉法人 川越市社会福祉協議会
公益社団法人 小江戸川越観光協会
公益社団法人 川越市シルバー人材センター
公益財団法人 川越市勤労者福祉サービスセンター
川越総合卸売市場 株式会社
川越都市開発 株式会社

消防・
外郭団体

川越地区消防組合

本市の消防は、昭和 23 年消防組織法の施行に伴い、同年 3 月 8 日消防本部及び消防署を設置し、従来の消防団と共に常備、非常備消防の体制により自治体消防として発足した。

昭和 30 年 4 月隣接の 9 ヶ村と合併、首都圏内にあつて、急速な市の発展に伴い、消防の重要性も一層増大し、昭和 34 年には市街地南部に新宿分署、昭和 42 年 3 月には市西部に霞ヶ関分署、さらに昭和 47 年 9 月には市南部の人口急増地域に高階分署を新設し、消防体制の強化を図った。

昭和 48 年 4 月 1 日には隣接の川島町との協議により、川越地区消防組合を設立し、消防本部、消防署並びに川越市川島町両消防団により広域消防業務を開始し、昭和 49 年 1 月 7 日には川島分署を開設した。昭和 54 年 4 月 5 日市南西部に大東分署を開設し、昭和 61 年 7 月 1 日には市東部地区に東分署を開設した。平成 2 年 4 月 1 日に川島分署を川島消防署、平成 5 年 4 月 1 日に霞ヶ関分署を川越西消防署にし、平成 16 年 4 月 1 日には、市北西部に名細分署を開設した。平成 17 年 4 月 1 日に川越消防署を川越北消防署、東分署を南古谷分署、新宿分署を川越中央消防署にし、4 署 4 分署体制となり、多様化する都市災害に対処すると共に、消防に対する理解と協力を得ながら、37 万余の市町民の生命、身体、財産の保護に万全を期している。

I 予算・職員・施設

1 川越市・川島町予算（一般会計）消防組合予算（当初）

区分 年度	川越市予算 (千円)	川島町予算 (千円)	合 計 (千円)	消防組合 予 算 (千円)	市町予算合計 額に対する組 合予算の割合	住民 1 人当 りの組合予算 (円)	消防職員 1 人 当たりの常備 消防予算(円)
令和 2 年度	115,850,000	7,146,000	122,996,000	6,327,576	5.1%	16,950	13,550,970
令和 3 年度	112,070,000	6,935,000	119,005,000	5,401,425	4.5%	14,479	11,320,659
令和 4 年度	116,720,000	7,513,000	124,233,000	5,523,176	4.4%	14,840	11,649,300

2 消防吏員、消防車等の人口、世帯、面積の割合

(令和 4 年 4 月 1 日現在)

区 分	人 口	世 帯 数	面 積 (km ²)	現 有 数
消防吏員 1 人当り	858	398	0.35	434 人
消防ポンプ車 1 台当り	20,677	9,585	8.38	18 台
救急車 1 台当り	31,015	14,377	12.56	12 台
1 署 当 り	46,522	21,565	18.85	8 署

※ 定数外の職員を含む。

3 基準消防力と現有消防力との比較

(令和4年4月1日現在)

区 分	基準消防力(署)	現有消防力(署)	充足率(%)
署所の数	10	8	80

区 分	基準台数	現有台数	充足率%	基準人員	現有人員	充足率%
消防ポンプ自動車	15	13	87	411	320	78
梯子車	3	4	133			
化学車	3	3	100			
救急車	11	9	82			
救助工作車	3	3	100			
指揮車	2	1	50			
特殊車両等	20	20	100			
非常用消防自動車	2	2	100	—	—	—
非常用救急車	2	3	150	—	—	—
通信員	—	—	—	18	16	89
予防要員	—	—	—	70(16)	55(16)	79
庶務処理等の人員	—	—	—	67	70	104
合計	—	—	—	550	445	81

※ 表中の数値は、消防力の整備指針が定める基準により算出している。

※ () は、交代制勤務の職員による兼務要員の数を内書きしたもので、合計に重複計上していない。

※ 現有人員は、再任用短時間勤務職員を含む。

4 職員の配置状況

(令和4年4月1日現在)

署 別	合計	消 正	防 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	そ の 他
合計	435(11)	1	7	24	61	163	60(11)	43	75	1	
消 防 局	87(3)	1	3	11	17	34	15(3)	2	3	1	
川 越 北 消 防 署	48(2)	0	1	3	8	15	8(2)	5	8	0	
南 古 谷 分 署	33	0	0	1	4	13	5	3	7	0	
川 越 中 央 消 防 署	71(2)	0	1	2	9	27	10(2)	10	12	0	
高 階 分 署	33	0	0	1	4	12	3	3	10	0	
大 東 分 署	33	0	0	1	4	15	1	3	9	0	
川 越 西 消 防 署	42(2)	0	1	2	5	16	3(2)	3	12	0	
名 細 分 署	45	0	0	1	4	18	8	6	8	0	
川 島 消 防 署	43(2)	0	1	2	6	13	7(2)	8	6	0	

※ () は、再任用短時間勤務職員の数を外書きしている。

※ 定数外の職員を含む。

5 消防自動車の配置状況

(令和4年4月1日現在)

署別	合計	水槽付ポンプ車	ポンプ車	はしご車	化学車	水槽車	高規格救急車	指令車	連絡車	広報車	警防車	救助工作車	調査車	その他
合計	71	5	10	4	3	1	12	3	11	8	5	3	1	5
消防局	12	0	0	0	0	0	0	3	6	0	0	0	1	2
川越北消防署	9	0	1	1	1	0	2	0	1	1	1	0	0	1
南古谷分署	6	1	1	0	0	0	2	0	0	1	1	0	0	0
川越中央消防署	11	0	2	1	1	0	2	0	2	1	1	1	0	0
高階分署	5	1	1	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0
大東分署	5	0	1	0	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0
川越西消防署	7	1	2	1	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0
名細分署	8	1	1	0	0	0	2	0	0	1	1	1	0	1
川島消防署	8	1	1	0	0	0	1	0	1	1	1	1	0	1

6 消防庁舎の現況

(令和4年4月1日現在)

所在地等 署別	所在地	建築年月日	構造	面積(m ²)		
				敷地面積	建物面積	延面積
消防局・川越北消防署	神明町48番地4	昭和49年11月21日 増築平成4年10月5日	鉄筋コンクリート造3階建	4,103.26	1,029.86	2,237.66
南古谷分署	大字久下戸3528番地1	昭和61年6月25日	鉄筋コンクリート造2階建一部 鉄骨造平屋建	2,432.00	367.02	451.08
川越中央消防署	新宿町2丁目14番地7	平成10年11月13日	鉄筋コンクリート造3階建	3,097.26	918.15	1,772.93
高階分署	大字砂新田16番地3	昭和47年8月30日	鉄筋コンクリート造3階建	1,755.72	409.01	1,038.13
大東分署	南大塚1丁目1番地9	昭和54年3月15日 増築平成30年3月28日	鉄筋コンクリート造一部 鉄骨造平屋建	1,578.08	447.39	441.55
川越西消防署	伊勢原町5丁目3番地	平成6年3月31日	鉄筋コンクリート造3階建	1,598.72	528.00	1,490.08
名細分署	大字鯨井589番地1	平成16年3月31日	鉄筋コンクリート造2階建	3,535.00	1,053.16	1,498.66
川島消防署	川島町大字平沼888番地	平成5年7月12日	鉄筋コンクリート造2階建	5,135.53	715.27	1,136.02

7 非常備消防（川越市消防団）

（令和4年4月1日現在）

分団名	所在地	構造	延面積 (㎡)	建築年月日
第一分団	小仙波町1丁目2番地15	鉄筋コンクリート造2階建	91.80	平成7年3月31日
第二分団	三光町2番地8	鉄筋コンクリート造2階建	109.78	平成11年3月15日
第三分団	野田町1丁目3番地8	鉄骨造2階建	104.52	平成3年3月30日
芳野分団	大字鴨田9番地1	鉄骨造平屋建	104.00	平成17年3月25日
古谷分団	大字古谷上3831番地1	鉄筋コンクリート造一部木造2階建	99.40	平成7年3月31日
南古谷分団	大字今泉307番地2	木造平屋建	103.10	平成19年3月1日
高階分団	大字藤間346番地1	鉄骨造2階建	112.00	平成16年2月20日
福原分団	大字今福1785番地5	鉄筋コンクリート造2階建	99.22	平成25年3月14日
大東分団	南大塚1丁目14番地20	鉄骨造2階建	84.20	平成元年3月11日
山田分団	大字山田167番地	鉄骨造2階建	112.00	平成15年3月14日
名細分団	大字小堤644番地3	鉄骨造平屋建	100.00	平成20年3月26日
霞ヶ関分団	大字笠幡2365番地1	鉄骨造平屋建	100.00	平成18年3月28日

8 消防団員(実員数)及びポンプ自動車の配置状況（川越市消防団）

（令和4年4月1日現在）

階級分団別	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計	ポンプ自動車
団本部	1	4	1	1	1	2	13	23	0
第一分団	0	0	1	1	1	2	19	24	1
第二分団	0	0	1	1	1	2	15	20	1
第三分団	0	0	1	1	1	2	18	23	1
芳野分団	0	0	1	1	1	2	20	25	1
古谷分団	0	0	1	1	1	2	17	22	1
南古谷分団	0	0	1	1	1	2	15	20	1
高階分団	0	0	1	1	1	2	15	20	1
福原分団	0	0	1	1	1	2	9	14	1
大東分団	0	0	1	1	1	2	11	16	1
山田分団	0	0	1	1	1	2	18	23	1
名細分団	0	0	1	1	1	2	12	17	1
霞ヶ関分団	0	0	1	1	1	2	12	17	1
合計	1	4	13	13	13	26	194	264	12

9 消防団員の報酬（川越市消防団）

（令和4年4月1日現在）

内訳	階級別	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
年支給額（円）		206,000	174,000	151,000	123,000	107,000	89,000	69,000

※ 機関係員には、年額11,000円の報酬を加給する。

10 消防水利の状況

（令和4年4月1日現在）

市町別	地区名	消火栓	防 火 水 そ う												プー ル 池 等
			20 m ³ 未満			20 m ³ 以上 40 m ³ 未満			40 m ³ 以上			計			
			公設	私設	合計	公設	私設	合計	公設	私設	合計	公設	私設	合計	
川 越 市	市街地北部	876	19	0	19	28	5	33	48	158	206	95	163	258	10
	市街地南部	497	3	0	3	29	5	34	32	97	129	64	102	166	6
	芳野地区	304	2	0	2	31	0	31	38	28	66	71	28	99	2
	古谷地区	260	6	1	7	34	1	35	10	22	32	50	24	74	3
	南古谷地区	393	0	0	0	32	1	33	23	47	70	55	48	103	5
	高階地区	496	7	0	7	53	7	60	29	35	64	89	42	131	10
	福原地区	434	10	0	10	53	4	57	43	66	109	106	70	176	10
	大東地区	635	7	0	7	59	4	63	45	94	139	111	98	209	10
	山田地区	243	0	0	0	18	2	20	14	27	41	32	29	61	1
	名細地区	560	0	0	0	62	7	69	52	59	111	114	66	180	12
霞ヶ関地区	903	10	0	10	54	1	55	100	72	172	164	73	237	13	
計	5,601	64	1	65	453	37	490	434	705	1,139	951	743	1,694	82	
川 島 町	中山地区	149	0	0	0	11	5	16	20	81	101	31	86	117	2
	伊草地区	96	0	0	0	13	3	16	18	16	34	31	19	50	2
	三保谷地区	73	0	0	0	3	0	3	5	10	15	8	10	18	2
	出丸地区	57	0	0	0	3	0	3	3	7	10	6	7	13	0
	八ッ保地区	74	0	0	0	1	1	2	3	12	15	4	13	17	1
	小見野地区	53	0	0	0	9	0	9	4	3	7	13	3	16	0
	計	502	0	0	0	40	9	49	53	129	182	93	138	231	7
合 計	6,103	64	1	65	493	46	539	487	834	1,321	1,044	881	1,925	89	

Ⅱ 救 急

1 救急活動の状況

(令和3年中)

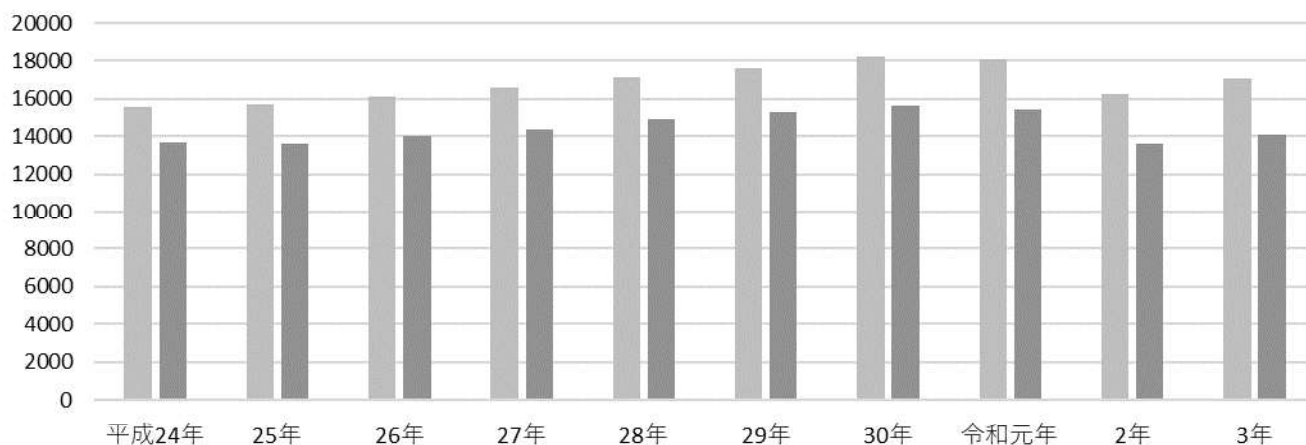
月別	事故種別 出場搬送	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
合計	出 場 件 数	17,043	73	0	2	1,294	173	100	2,339	68	169	10,932	1,893
	搬 送 人 員	14,115	8	0	0	1,171	170	96	2,057	47	116	9,215	1,235
1	出 場 件 数	1,417	6	0	0	99	15	2	211	7	7	894	176
	搬 送 人 員	1,173	1	0	0	91	14	2	185	4	3	754	119
2	出 場 件 数	1,203	14	0	1	78	9	3	174	3	12	781	128
	搬 送 人 員	1,023	2	0	0	75	9	3	148	1	7	681	97
3	出 場 件 数	1,324	3	0	0	101	5	6	195	2	17	842	153
	搬 送 人 員	1,104	0	0	0	89	5	6	175	1	10	714	104
4	出 場 件 数	1,317	8	0	0	131	14	7	176	7	10	831	133
	搬 送 人 員	1,107	0	0	0	111	14	7	161	5	10	706	93
5	出 場 件 数	1,394	8	0	0	108	13	11	181	5	18	889	161
	搬 送 人 員	1,161	1	0	0	104	13	11	157	2	15	742	116
6	出 場 件 数	1,333	1	0	0	86	10	18	153	5	11	881	168
	搬 送 人 員	1,093	0	0	0	79	10	17	127	3	9	751	97
7	出 場 件 数	1,612	3	0	0	112	20	10	191	7	12	1,081	176
	搬 送 人 員	1,330	0	0	0	105	20	10	165	7	8	913	102
8	出 場 件 数	1,644	5	0	1	94	22	10	169	4	18	1,157	164
	搬 送 人 員	1,312	0	0	0	88	21	10	154	2	11	938	88
9	出 場 件 数	1,311	8	0	0	106	16	3	165	10	19	852	132
	搬 送 人 員	1,067	2	0	0	98	16	3	143	10	11	698	86
10	出 場 件 数	1,391	0	0	0	114	17	10	223	4	19	867	137
	搬 送 人 員	1,155	0	0	0	102	16	9	194	4	10	733	87
11	出 場 件 数	1,457	4	0	0	140	19	10	228	7	9	886	154
	搬 送 人 員	1,229	0	0	0	122	19	10	202	3	8	757	108
12	出 場 件 数	1,640	13	0	0	125	13	10	273	7	17	971	211
	搬 送 人 員	1,361	2	0	0	107	13	8	246	5	14	828	138

2 救急活動の推移

	令和元年中	令和2年中	令和3年中
出場件数	18,118	16,226	17,043
搬送人員	15,473	13,633	14,115

過去10年の推移

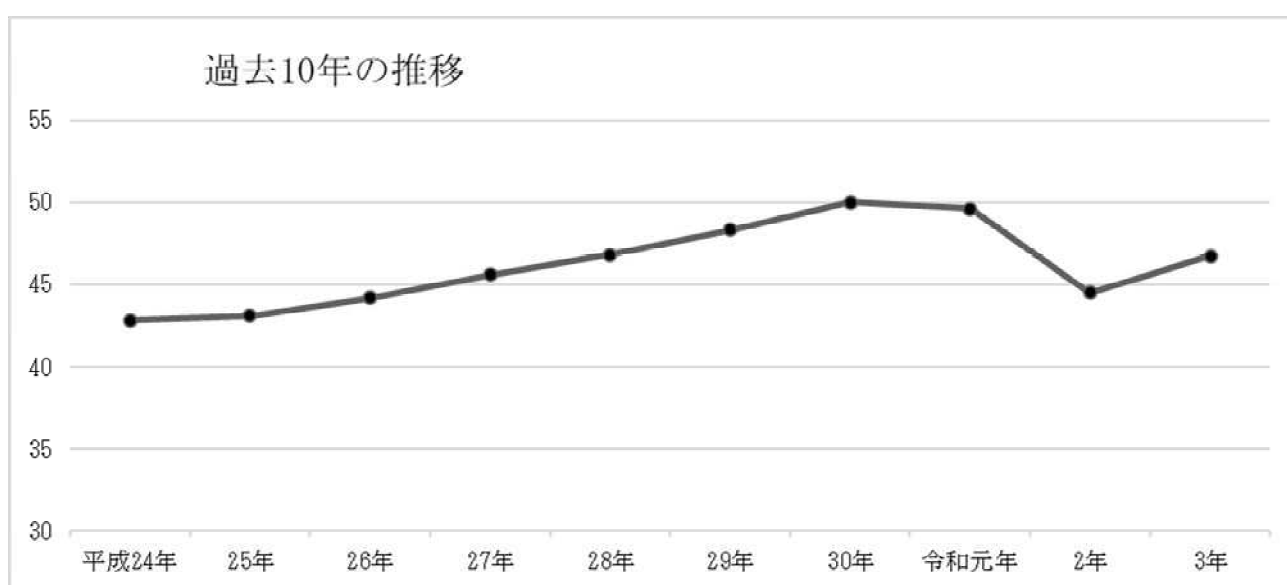
■ 出場件数 ■ 搬送人員



3 1日平均救急出場件数

	令和元年中	令和2年中	令和3年中
1日平均出場件数	49.6	44.5	46.7

過去10年の推移



Ⅲ 火 災

1 火災の概況

区分 年次	火災 件数	火災種別 (件)						焼損棟数 (棟)					り災世帯数 (世帯)				り災人員 (人) 計
		建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	計	全 損	半 損	小 損	計	
令和元年	109	65	0	10	0	0	34	23	7	44	37	111	20	4	60	84	179
令和2年	75	54	0	8	0	0	13	15	2	25	40	82	9	2	46	57	133
令和3年	84	50	0	11	0	0	23	18	2	22	26	68	11	1	33	45	97

区分 年次	死傷者 (人)		焼損面積			損害見積額 (千円)							計
	死 者	負 傷 者	焼 損 床面積 (㎡)	焼 損 表面積 (㎡)	林 野 (a)	建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他		
令和元年	9	13	2,484	686	0	323,764	0	18,618	0	0	12,982	355,364	
令和2年	2	14	1,327	431	0	163,782	0	7,506	0	0	963	172,251	
令和3年	3	6	1,875	140	0	176,668	0	4,517	0	0	2,686	183,871	

2 地区別火災の概況

(令和3年中)

区分	地区別	合	本	芳	古	南	高	福	大	山	名	霞	川
		計	庁 管内	野	谷	古 谷	階	原	東	田	細	ケ 関	島
合	計	84	19	0	2	2	4	9	7	6	6	19	10
火 災 種 別 (件)	建 物 火 災	50	10	0	1	2	3	5	3	3	4	13	6
	林 野 火 災	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	車 両 火 災	11	3	0	1	0	0	0	1	2	0	2	2
	船 舶 火 災	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	航 空 機 火 災	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他 火 災	23	6	0	0	0	1	4	3	1	2	4	2

3 月別火災の概況

(令和3年中)

区分 月別	火災件数 (件)	火災種別 (件)						焼損面積 (㎡)		死傷者数 (人)	
		建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	建物床面積	建物表面積	死者	負傷者
合計	84	50	0	11	0	0	23	1,875	140	3	6
1月	10	6	0	2	0	0	2	40	2	0	1
2月	10	6	0	2	0	0	2	428	37	1	1
3月	5	0	0	1	0	0	4	0	0	0	0
4月	14	6	0	1	0	0	7	443	22	0	0
5月	6	6	0	0	0	0	0	2	1	0	1
6月	3	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0
7月	4	2	0	0	0	0	2	2	2	0	0
8月	7	4	0	1	0	0	2	17	0	1	0
9月	9	5	0	3	0	0	1	660	65	0	2
10月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11月	6	6	0	0	0	0	0	1	3	0	0
12月	10	8	0	1	0	0	1	282	8	1	1

4 出火原因別火災件数

(令和3年中)

原因別	地区別	合計	本庁管内	芳野	古谷	南古谷	高階	福原	大東	山田	名細	霞ヶ関	川島
		合計	84	19	0	2	2	4	9	7	6	6	19
たばこ	12	4	0	0	0	1	1	2	0	0	3	1	
こんろ	5	3	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	
かまど	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
風呂かまど	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
炉	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
焼却炉	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ストーブ	5	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	1	
こたつ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ポイラー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
煙突・煙道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
排気管	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
電気機器	3	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	
電気装置	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	
電灯・電話等の配線	6	0	0	0	0	0	2	0	1	0	2	1	
内燃機関	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
配線器具	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
火あそび	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
マッチ・ライター	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
たき火	6	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	2	
溶接機・切断機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
灯火	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
衝突の火花	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
取灰	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
火入れ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
放火	9	3	0	0	0	0	1	0	1	3	1	0	
放火の疑い	3	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	
その他	24	3	0	1	0	0	3	5	2	1	6	3	
不明・調査中	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	

川越市土地開発公社

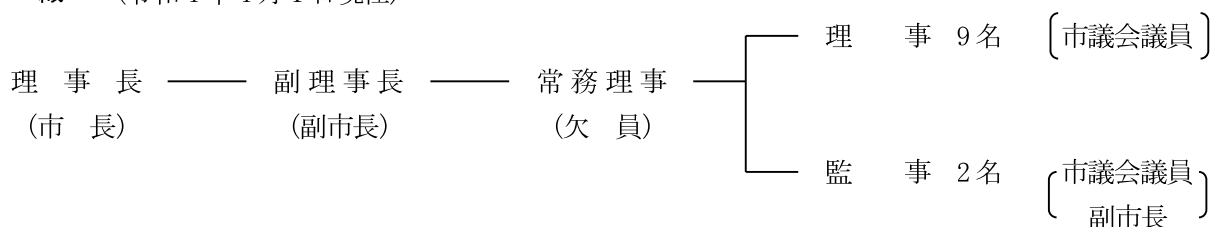
川越市土地開発公社は、その前身として昭和37年6月28日民法第34条による法人として設立された「財団法人川越市開発公社」を公有地の拡大の推進に関する法律の制定に伴い同法附則第2条により、昭和49年8月31日組織変更したものであり、特定の行政目的のために設立された、公法上の法人「公法人」である。また、一般に特別法人といわれている。

土地開発公社の目的及び事業内容としては、「公有地の拡大の推進に関する法律」第17条に掲げる公共用地、公用地の取得、管理及び処分を行うことにあり、主に市の依頼に基づく公共用地等の先行取得等の事業を推進することにより、地域の秩序ある整備と市民福祉の増進に寄与しているところである。

理事会は年間2回程度開催され、令和3年度には5議案が承認されている。

事務局においては、市の関係各課から依頼のあった用地について、交渉、契約、登記、金融機関からの資金調達、代金支払までの一連の事務及び関係諸官庁への事務手続等の一切の事務事業を行っている。なお事務局職員は、市財政部長を事務局長として、管財課の職員が兼務している。

組 織 (令和4年4月1日現在)



1 令和3年度事業実績

公共用地取得事業

事業区分	取得面積 (㎡)	取得金額 (千円)
用地取得事業	3,556.62	158,889

公共用地処分事業

事業区分	処分面積 (㎡)	処分金額 (千円)
用地処分事業	237.50	82,639

2 令和4年度事業計画

公共用地取得事業

事業区分	取得面積 (㎡)	取得金額 (千円)
用地取得事業	1,809.11	693,475

公共用地処分事業

事業区分	処分面積 (㎡)	処分金額 (千円)
用地処分事業	759.63	217,288

公益財団法人 川越市施設管理公社

1 組織概要

(令和4年4月1日現在)

名 称	公益財団法人 川越市施設管理公社
所 在 地	郭町1丁目18番地7
設 立 年 月 日	平成2年5月1日
目 的	地域のコミュニティの育成並びに文化及びスポーツの振興を図るとともに、川越市の設置する施設の管理運営を受託し、有効かつ効率的な管理運営に務め、もって市民サービスの向上と住民福祉の増進に寄与する。
業 務 内 容	①地域のコミュニティの育成に関する事業 ②文化及びスポーツの振興に関する事業 ③川越市内の公共施設の管理運営に関する受託事業 ④その他公社の目的を達成するために必要な事業
運 営 方 針	柔軟な発想をもって行政の枠を越えた市民サービスに努める。
役 員	理事長1(※)、理事6 監事2(民間2)、評議員9(市部長2、民間7)
職 員	事務局長1、職員28、臨時職員39
資 産	基本財産 1億円

※理事長については、令和4年4月2日付けで就任。

2 令和3年度事業実績

川越市内の公共施設の管理運営に関する指定管理事業

- ①川越市やまぶき会館管理・運営事業
- ②川越西文化会館管理・運営事業
- ③川越南文化会館管理・運営事業
- ④川越運動公園陸上競技場等管理・運営事業
(総合体育館・陸上競技場・テニスコート)

受託事業

- ①川越市斎場及び川越市民聖苑やすらぎのさと
式場貸出等業務
- ②児童センターこどもの城児童厚生業務
- ③川越駅東口児童館児童厚生業務
- ④子どもの文化芸術体験事業～アウトリーチ～
- ⑤人材発掘・支援事業～川越市人材発掘公開オーディション～

自主事業

- ①地域のコミュニティの育成に関する事業
 - ・文化講座事業 (5 講座実施)
 - ・ふれあいコンサート (4 回)
 - ・メルトミニマムコンサート
 - ・アーティストバンク支援紹介事業
 - ・KFP 文化サポーターズ

②文化及びスポーツの振興に関する事業

○文化

- ・ファミリーミュージカル 「眠れる森の美女」
- ・ニューイヤーガラコンサート in 川越
- ・体験事業 (7事業実施)

- ・YouTube2019 オンデマンド配信 (メルトピアノ
名曲コンサート～魚住幸正の世界～)

○スポーツ

- ・いきいき体操教室1
- ・女性健康体操教室
- ・いきいき体操教室2
- ・ソフトエアロビクス教室
- ・ヨガ教室
- ・かけっこ教室
- ・紙飛行機教室
- ・エアロビクス教室

- ・ランニング教室
- ・陸上競技記録会
- ・少年少女ドッジボール大会
- ・川越市民駅伝競走大会
- ・小江戸川越トラックフェスティバル
- ・テニスボール寄付事業

3 令和4年度事業計画

川越市の設置する施設の管理運営に関する指定管理事業

①川越市やまぶき会館管理・運営事業

②川越西文化会館管理・運営事業

③川越南文化会館管理・運営事業

④川越運動公園陸上競技場等管理・運営事業

(総合体育館・陸上競技場・テニスコート)

受託事業

①川越市斎場及び川越市民聖苑やすらぎのさと
式場貸出等業務

②児童センターこどもの城児童厚生業務

③川越駅東口児童館児童厚生業務

④子どもの文化芸術体験事業～アウトリーチ～

自主事業

①地域のコミュニティの育成に関する事業

- ・文化講座事業 (10事業)
- ・アーティストバンク支援紹介事業
- ・KFP サポーターズ
- ・インターンシップ企画公演
- ・100周年記念事業「気軽にクラシック」

- ・ロビーコンサート
- ・ミニマムコンサート
- ・ふれあいコンサート (5事業)
- ・宿題サロン

②文化及びスポーツの振興に関する事業

○文化

- ・やまぶき寄席、納涼寄席
- ・ニューイヤーガラコンサート
- ・ミュージカル「人魚姫」
- ・やまぶきシネマ
- ・荒馬座公演

- ・森は生きている公演
- ・メルトコンサート
- ・中国伝統芸能祭
- ・ホール独り占め
- ・ジョイフル寄席

- ・ジョイフルおんがく発表会
- ・MEET THE MUSIC
～アーティストが学校にやってくる！

- ・MEET THE DANCE
～アーティストが学校にやってくる！
- ・文化体験事業（12 事業）

○スポーツ

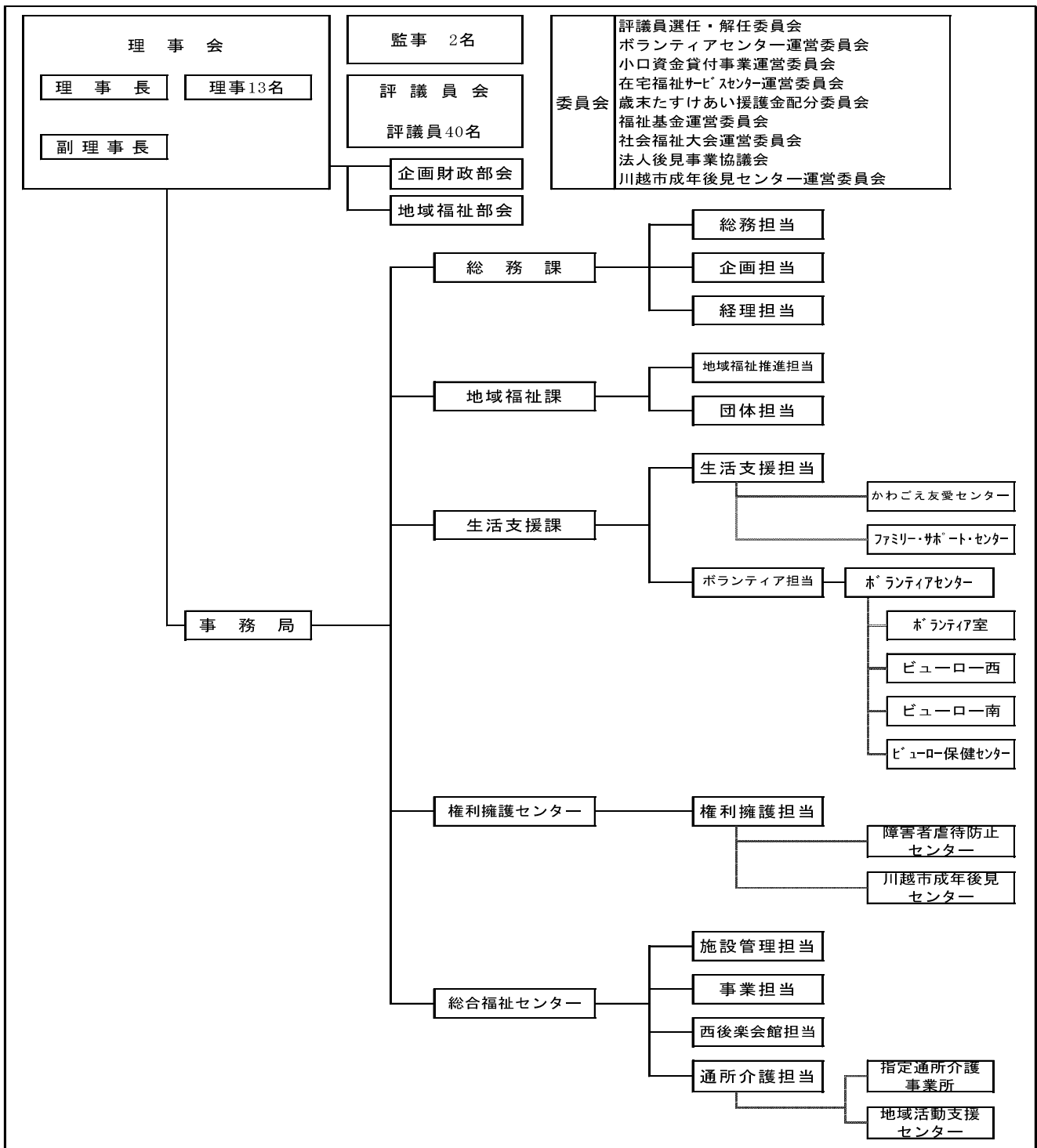
- ・いきいき体操教室 1
- ・いきいき体操教室 2
- ・女性健康体操教室
- ・ソフトエアロビクス教室
- ・ランニング教室
- ・かけっこ教室
- ・初心者体操教室 1・器械体操
- ・初心者体操教室 2・新体操
- ・ヨガ教室
- ・エアロビクス教室
- ・紙飛行機教室
- ・テーピング講座
- ・逆上がり教室
- ・ピラティス教室
- ・リトモス教室
- ・ZUMBA 教室
- ・骨盤体操教室
- ・イス DE ゆったり体操教室
- ・キッズダンス教室
- ・キッズエクササイズ教室
- ・小江戸川越トライアルミーティング
- ・少年少女ドッジボール大会
- ・ミニサッカー大会
- ・少年少女ミニバスケットボール大会
- ・小江戸川越トラックフェスティバル
- ・川越市民駅伝競走大会
- ・川越市武道大会
- ・陸上競技交流記録会
- ・川越市民ゴルフ大会
- ・スポーツ講演会
- ・卓球広場
- ・テニスボール寄付事業

社会福祉法人 川越市社会福祉協議会

社会福祉協議会（社協）は、福祉の対象となる人々の福祉問題を解決するため関係する機関・団体・施設及び地域の人々と協力しあって、具体的解決に向けて取り組む福祉活動の推進を積極的に図り、住民参加による「福祉のまちづくり」を進める、公共性と自主性を有する民間組織である。

特に、平成12年度に行われた社会福祉法の改正により、地域福祉の推進を図るため、社協自ら社会福祉を目的とする事業を企画・実施していくことになった。

1 組織



2 自主事業

事業名	事業内容	令和3年度
1. 社会福祉大会	市民参加による福祉の心豊かな地域社会の実現を目的とし、社会福祉の推進に貢献された方々を表彰する。	新型コロナの影響により式典は中止 大会会長表彰・感謝 148人・26団体
2. 福祉の市	高齢者や障害のある方の製作品の展示会を開催することにより、これらの方々の作品の製作意欲と生きがいを高め、社会参加の場を拡大するとともに、住民の地域福祉に対する意識の啓発をすることを目的として、平成2年から実施。	新型コロナの影響により中止
3. 在宅高齢者等給食サービス事業（ふれあい型食事サービス）	在宅の一人暮らし高齢者等に給食サービスを実施することにより、食生活の改善を通じてその健康保持を図り、在宅での生活を支援し、住みよい福祉のまちづくりを築くことを目的とし、地区社協に助成を行う。	13地区 対象者 1,123人 延12,885食
4. 友愛訪問事業	地域の中で孤立しがちな高齢者や障害者に対して、ボランティアや近隣住民が訪問活動を行い、温かい人間関係を築き、共に生きるコミュニティづくりを行う。	21地区 1地区あたり 年間60,000円 補助金交付
5. 世代間交流事業	人間関係が希薄になりがちな地域住民が、世代間交流を通してお互いにふれあうことで理解と思いやりの心を醸成し、住みよい福祉まちづくりを目的とし、地区社協に助成を行う。	3地区 延978人参加
6. 地区社会福祉協議会プラン事業	地区社協が自主的に取り組む地域に密着したふれあい助けあいの活動の地区社協に助成を行う。	13地区 延7,308人参加
7. 福祉協力員等事業	福祉協力員及びボランティアの育成を行うと共に、福祉協力員を登録し、日常的な見守り活動と地域福祉支援体制づくりを推進していくため、地区社協に助成を行う。	6地区 福祉協力員人数 387人
8. 一人暮らし高齢者集い事業	一人暮らし高齢者と地域住民が一堂に会し、日常生活や健康問題などを気軽に話し合い、あたたかな人間関係とふれあいの機会をつくることを目的とし、地区社協に助成を行う。	13地区 延1,662人参加
9. 地区別福祉懇談会	地区社協を中心に自治会をはじめ、各種団体、住民などにより、“共に生きる地域社会づくり”を目指して福祉懇談会の開催に助成を行う。	13地区 6会場 190人参加
10. 緊急連絡カード事業	一人暮らし高齢者等が、緊急事態の場合、民生委員が迅速に近親者と連絡がとれるように緊急連絡カードを配布する。また、これによって一人暮らし高齢者等に対する友愛訪問事業への展開を図る。	22地区 5,865人登録
11. 歳末たすけあい援護事業	低所得世帯、重度要介護高齢者、重度障害児者、市内民間社会福祉施設に対して地域歳末たすけあい募金配分金により見舞い激励を実施する。	歳末たすけあい 援護金 2,952件
12. 在宅介護者支援事業	在宅介護者の支援と充実を図るため、在宅介護者の集い等を開催する。	新型コロナの影響により、リフレッシュ事業の外出行事を中止し、体操教室や、グッズ配布を実施
13. 親子リフレッシュ	子育て家庭に向けた、子育てに関する講演会や親子で楽しめるイベントを開催することで、子育て家庭の悩みの解消や、親子のつながりを深めるとともに、同世代の家庭が交流を図ることで、地域のつながりを作る機会とする。	参加人数 194人
14. 心配ごと相談所	広く市民生活のあらゆる相談に応じ、適切な助言・援助を行う。	相談員 相談件数 3人 78件

事業名	事業内容	令和3年度	
15. 福祉団体事務局	民生委員児童委員協議会連合会、障害者団体連絡協議会、身体障害者福祉会連合会、老人クラブ連合会、遺族会、在宅介護者友の会、ボランティア連絡会などの事務補助を行う。		
16. 各種資金の貸付	福祉資金＝低所得世帯の生活の安定を図るための資金の貸付。 安定資金＝生活保護世帯に対する生計のつなぎ資金の貸付。	0件 334件	0円 7,575,000円
17. ボランティアの養成	ボランティア養成のための各種講座等の実施。 (1) 市内学校等対象福祉体験実技 (2) 市内学校等対象福祉講話 (3) ボランティア体験プログラム (4) 傾聴ボランティアフォローアップ講座 (5) 点字ボランティア養成講座 (6) 聴覚障害者支援ボランティア養成講座 (7) ボランティア入門講座 (8) オンライン入門講座	学校対象 学校対象 103名 20名 6名 新型コロナの影響により中止 10名 25名	延 1,394人 延 1,560人 延 280人 延 81人 延 24人 延 10人 延 25人
18. ボランティアグループの育成	ボランティアグループを対象に、情報交換会及び研修会を開催するとともに、各グループに活動費の助成を行う。	登録 補助対象	148団体 16団体
19. ボランティア活動保険の加入推進	ボランティア活動中の事故に備え、保険への加入促進を図る。	加入者	2,892人
20. ボランティア体験学習機器貸出	ボランティア活動促進を図るため、福祉DVD、車椅子等の機器を貸出しする。		44件
21. ボランティアビューローの運営	ボランティア活動の拠点として、総合福祉センター内にボランティア室、南文化会館、西文化会館及び総合保健センター内にボランティアビューローを開設、ボランティアの発掘、登録、斡旋等を、アドバイザーを配置して実施する。	ボランティア アドバイザー	21人
22. 在宅障害児招待事業	ボランティアの協力を得て、心身に障害のある18歳未満の児童とその家族を招待し、家族間の交流を深める。		新型コロナの影響により中止
23. 在宅福祉サービス事業 「かわごえ友愛センター」	自主的なボランティア意識を基盤とした会員制、有償・有料制を特色とした在宅福祉サービスで、高齢者や障害者などの家庭へ協力会員を派遣して、日常的な自立への援助を行う。	登録者 利用会員 協力会員 派遣件数	298人 160人 4,336件
24. 福祉車両等の貸出サービス	けがや病気等で短期に在宅で車椅子が必要になった場合に車椅子を、又常時車椅子を使用している方が外出するための交通手段として福祉車両（スロープ式軽自動車）をそれぞれ貸出している。	車椅子 福祉車両	152件 152台 24件 24台
25. 戦没者追悼支援事業	春季追悼式＝全市合同、献花による追悼式。 秋季追悼式＝市役所本庁管内11の地区は合同、出張所管内は地区ごとに実施。		2,134柱
26. 法人後見事業	高齢者や障害者等判断能力が不十分な方で、適切な成年後見人等がいらない方に対して、日常生活で必要となる法律行為を適切に処理するため、家庭裁判所からの選任を受け、法人として成年後見人等受任や監督を行う。	後見類型 保佐類型 保佐監督	16件 6件 1件

3 受託事業

事業名	事業内容	令和3年度
1. 生活管理指導員等派遣事業	介護保険の要介護者及び要支援者に該当しない65歳以上の在宅の高齢者に対して、日常生活に対する指導と自立した生活を送るための援助を行い、要介護状態への進行を予防する。	実利用者 30人 延利用者 1,008人 派遣時間 延1,009時間
2. 盲人ガイドヘルパー派遣事業	重度の視覚障害者が社会生活を営む上で外出を必要とするとき、付添い者がいなく、支障がある場合にガイドヘルパーを派遣する。	利用延人数 715人
3. 川越市ファミリー・サポート・センター事業	地域の中で育児の援助を行いたい人と育児の援助を受けたい人を会員として組織し、会員同士の育児に関する相互援助活動を行う。	登録者 466人 提供会員 1,252人 依頼会員 35人 両方会員 5,534件 派遣件数
4. 福祉サービス利用援助事業	高齢者、知的障害者、精神障害者などで判断能力が不十分な方に対して、地域で安心した生活が送れるよう福祉サービスの利用援助、日常生活上の手続き援助、日常的金銭管理、書類等預かりサービスを行う。	相談件数・利用者数 高齢認知症等 21・12 知的障害等 3・13 精神障害等 3・18 その他 0・3
5. 川越市障害者虐待防止対策支援事業	障害者虐待の防止、早期発見するための相談窓口を設け、関係機関とともにその解決に努め、養護者等への支援を行う。	相談件数 延73件
6. 生活福祉資金貸付事業	低所得世帯、障害者世帯又は高齢者世帯に対し、資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより、その世帯の安定した生活と経済的自立を図ることを目的とした貸付制度である。	生活福祉資金 12件 20,377,000円
7. 川越市介護支援いきいきポイント事業	川越市内在住の65歳以上の高齢者の方が、自身の介護予防を目的に、高齢者介護施設等において利用者への支援活動（ボランティア活動）を実施した場合、ポイントを付与する事業である。	事業登録者 523人 受入機関 118事業所 活動者 延964人
8. 生活支援体制整備推進事業	支援が必要な方の在宅生活を支えるため、地域住民を中心とした多様な事業主体（ボランティア・NPO法人・民間企業・社会福祉法人・協同組合等）による重層的な介護予防・生活支援サービスの提供体制づくりを推進するため、生活支援コーディネーターの配置及び協議体を設置し、支えあい・助け合いのある地域づくりを推進する。	生活支援 1層 1人 コーディネーター配置数 2層 9人
9. コミュニティソーシャルワーカー（CSW）	福祉問題に対して、要支援者の自立を目指すとともに、地域の中での自立を支えるための取組みを中心となって行っていく。	配置数 9圏域 出張相談窓口 6ヶ所
10. 成年後見制度推進事業	権利擁護が必要な人を早期に発見・支援するため、中核機関として、広報、相談、成年後見制度利用促進、成年後見人等支援を行う。	出前講座参加人数 延145人 一般相談 延363件 成年後見相談所での相談 45件 成年後見入門講座 延94人 フォローアップ研修 4人 講座修了者への情報提供 延468人

4 指定管理者業務

事業名	事業内容	令和3年度
1. 老人福祉センター	西後楽会館の管理運営。	西後楽会館年間利用者 7,156人
2. 総合福祉センター	総合福祉センター「オアシス」の管理運営。 (1) 高齢者福祉センター事業 (2) 障害者福祉センター事業 (3) その他事業 (4) プール一般利用 (5) 体育室一般利用	年間延利用者数 19,069人 5,164人 286人 0人 0人

5 介護保険事業

事業名	事業内容	令和3年度
1. 通所型サービス事業 地域密着型通所介護事業 ※ R4年度から通常規模型 通所介護事業に形態変更	介護保険の要介護認定で、要介護状態又は要支援状態に認定された高齢者等に対し、通所サービスの提供を行う。	実利用者数 51人 延利用者数 2,366人

6 地域生活支援事業

事業名	事業内容	令和3年度
1. 地域活動支援センター事業	川越市地域活動支援センター事業の利用決定を受けた障害者に対して、創作的活動、社会適応訓練、機能訓練、レクリエーション、入浴サービス等の通所サービスを提供する。	実利用者 62人 延利用者 2,812人

公益社団法人 小江戸川越観光協会

1 概 要

名 称 公益社団法人小江戸川越観光協会

所 在 地 松江町2丁目1番地8

設立年月日 平成16年3月19日

(川越市観光協会：昭和34年12月16日)

目 的 川越市における観光産業の振興および地域の活性化に関する事業を行い、地域文化の向上、地域産業の発展に寄与する。

事業内容

- (1) 観光振興および観光客誘致事業
- (2) 他団体の実施する活動への支援および能力開発事業
- (3) 観光施設等の運営および受託事業
- (4) その他、公益目的を達成するために必要な事業

役 員 理事20（会長1、副会長3）、監事3

職 員 専務理事兼事務局長1、職員8、臨時職員9

2 会員数（令和3年度）

正会員 480名、賛助会員 46名

3 主な事業実績（令和3年度）

（1）観光振興及び観光客誘致事業

① 協会ホームページの活用

内容	件数
ページビュー数(PV)	2,740,505
フォトライブラリー利用件数	47件

② 観光キャンペーン等の開催、参加、協賛 参加キャンペーン数 2件

③ 観光イベントの実施

イベント名	参加者数
小江戸川越旅ギフトスタンプラリー	7,500人
小江戸川越春まつりフィナーレイベント	開催中止
小江戸川越花火大会有料観覧席	開催中止
川越まつり有料観覧席	開催中止
小江戸川越春の舟遊	83人

(2) 他団体の実施する活動への支援及び能力開発事業

① 他団体への支援活動事業

内容	事業数
助成による支援	6 事業
後援等による支援	24 事業

② 能力開発事業

小江戸川越ブランド産品事業の推進

認定商品数：53 商品

(3) 観光施設等の運営及び受託事業

① 観光案内事業

	対面による観光案内件数	うち、外国人観光案内件数
仲町観光案内所業務委託	41,521 件	102 件

② 観光施設等維持管理事業

仙波東照宮公開による観覧者数：12,341 人

公益社団法人 川越市シルバー人材センター

シルバー人材センターは、高齢化社会の急速な進展に対応するため、原則60歳以上の者で、健康で働く意欲のある市民を会員とした公益性・公共性の高い団体である。そのため高齢者の体力・能力に応じた仕事で、その技能・経験を活かせる場を提供し、高齢者の就業を通じて福祉の増進を図りながら、自主的に運営する団体である。

就業は発注者からセンターが請負った仕事に会員が従事する。会員の就業に対する対価は、請負金額に基づいてセンターを通じ、配分金として支払われる仕組みになっている。また、一般労働者派遣事業や有料職業紹介事業なども行っている。

1 年度別事業実績

区分 年度	会員数A (人)			受注件数 (件)				就業人員 (人)		契 約 金 額 (円)				就業率 B/A (%)
	男	女	計	公共	民間	個人	計	実人員B	延人員	配 分 金	事務費	材料費	計	
令和元 年 度	1,718	648	2,366	203	587	2,251	3,041	1,844	227,378	853,184,162	70,371,632	37,235,023	960,790,817	77.9
令和2 年 度	1,626	631	2,257	194	510	1,540	2,244	1,767	201,102	750,272,089	62,151,208	34,309,053	846,732,350	78.3
令和3 年 度	1,568	638	2,206	183	469	1,376	2,028	1,694	194,607	710,283,799	58,143,060	30,899,293	799,326,152	76.8

2 契約額の内訳

区分 年度	公 共 機 関		民 間		個 人		合 計	
	金額 (円)	割合 (%)	金額 (円)	割合 (%)	金額 (円)	割合 (%)	金額 (円)	割合 (%)
令和元 年 度	471,243,205	49.0	417,539,124	43.5	72,008,488	7.5	960,790,817	100.0
令和2 年 度	409,521,330	48.4	377,560,800	44.6	59,650,220	7.0	846,732,350	100.0
令和3 年 度	365,829,616	45.8	381,367,054	47.7	52,129,482	6.5	799,326,152	100.0

3 令和3年度 職業分類別実績表

職業分類名	受託件数 (件)	延日人員 (人)	契約金額(円)			
			配 分 金	材 料 費 等	事 務 費	計
専門的・技術的職業	6	566	2,422,505	200,326	212,396	2,835,227
事務的職業	134	7,450	33,917,788	190,654	2,729,064	36,837,506
サービスの職業	212	57,700	248,877,093	20,423,681	21,326,500	290,627,274
保安の職業	13	4,586	13,035,933	0	1,045,316	14,081,249
農林漁業の職業	904	9,575	37,429,083	3,535,363	3,450,564	44,415,010
生産工程の職業	236	3,290	10,391,643	2,088,388	880,955	13,360,986
建設・採掘の職業	1	405	2,243,904	2,321	179,512	2,425,737
運搬・清掃・包装等の職業	522	111,035	361,965,850	4,458,560	28,318,753	394,743,163
合 計	2,028	194,607	710,283,799	30,899,293	58,143,060	799,326,152

公益財団法人 川越市勤労者福祉サービスセンター

川越市勤労者福祉サービスセンターは、中小企業における企業内福利厚生の実施のために平成2年に設立した財団法人で、平成24年4月に公益財団法人へ移行した。

勤労者福祉サービスセンターは、市内中小企業勤労者1人につき月額500円の会費により、事業主及び従業員に生活の安定、健康の維持増進、余暇・自己啓発、老後生活の安定等にわたる総合的な福祉事業を相互扶助により実施している。

また、平成22年4月に川越市中高年齢労働者福祉センター（サンライフ川越）及び川越市芳野台体育館の運営管理を行う財団法人川越労働福祉協会と合併し、勤労者の教養文化・創作活動、健康スポーツ活動等を支援する教室の開催、自主活動、各種サークルの養成を行っている。

なお、川越市中高年齢労働者福祉センター（サンライフ川越）は、中高年齢労働者の雇用促進と福祉の向上を図ることを目的として、昭和60年に雇用促進事業団により設置された施設である。（平成15年に川越市が施設を売買により取得している。）

理事9名の理事会、評議員7名の評議員会、監事2名及び事務局職員6名（うち1名常務理事兼務）で運営している。

1 会員数の推移

年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業所数（事業所）	210	197	185
会 員 数（人）	1,633	1,173	1,111

2 令和3年度の主な事業実績

給付事業

共 済 事 由	支給件数
弔慰金（本人又は家族の死亡弔慰金）	41 件
見舞金（傷病、住宅災害等の見舞金）	18 件
祝 金（結婚、出生、永年勤続等の祝金）	183 件

健康の維持増進事業

事 業 名	利用状況
人間ドック利用補助	71 人
インフルエンザ予防接種補助	206 人

余暇に関する事業

事 業 名	利用状況
宿泊施設利用補助	80 人
催し事業（味覚狩り等）	217 人
観劇チケット等補助・斡旋	8,847 枚

退職金共済団体としての事業

事 業 名	加入者
パートタイマー退職金共済	93 人

川越総合卸売市場 株式会社

卸売市場法による、埼玉県卸売市場整備計画に基づき、県南西部9市町流通圏域に生鮮食料品等の安定的供給を図るため、整備したものである。昭和56年5月に川越地区卸売市場整備促進協議会（11市町村長、4青果業界、業界代表等）が設立され、以降開設準備を進めて、平成6年5月に営業を開始した。

当市場は、周辺に国道16号、県道川越越生線が走り、関越自動車道川越インター及び圏央道狭山日高インターに近く、極めて交通至便な環境にある。

1 市場の概要

市場名 埼玉川越総合地方卸売市場

所在地 大字大袋650番地

敷地面積 198,000㎡

総事業費 約180億円

取扱品目 青果物・水産物・関連商品

開設者 川越総合卸売市場株式会社

代表取締役社長 福田 忠博（令和3年6月19日就任）

開設年月日 平成6年5月30日

開設会社の構成（令和4年4月1日現在）

行政 川越市、狭山市、坂戸市、飯能市、鶴ヶ島市、ふじみ野市、日高市、毛呂山町、越生町
業 界 東京新宿ベジフル株式会社、株式会社埼玉県魚市場、株式会社埼玉りそな銀行、
いるま野農業協同組合

資本金及び構成（令和4年4月1日現在）

資本金 1億円

構成 行政 98.3%

業界 1.7%

入場業者（令和4年4月1日現在）

ア 卸売業者 青果部 東京新宿ベジフル株式会社

水産物部 株式会社埼玉県魚市場

イ 仲卸業者 青果部 5業者（10店舗）

水産物部 9業者（26店舗）

ウ 関連事業者 26業者（43店舗）

エ その他 2業者（2店舗）

2 施設の概要

	施設名		面積 (㎡)	備考
主	卸売場	青果	3,300	1階
		水産	2,200	1階
	仲卸売場	青果	1,730	1階、2階
		水産	3,110	1階、2階
関連店舗			6,555	1階、2階
棟	開設会社事務所		3,144	3階
	青果卸事務所 水産卸事務所			
附	青果配送センター		1,248	
	水産配送センター		568	
	青果保冷库 バナナ発酵所		432	
	青果倉庫		342	
	水産冷蔵庫		2,547	
	食堂		324	
	守衛所		20	
棟	ゴミ集積庫		55	3棟合計
	発泡スチロールリサイクルセンター		133	
	野外便所		115	
	受水槽			
駐車場			30,437	(1,200台)
調整池			18,000	

3 取扱高の推移

年度	青果物		水産物		合計	
	数量 (kg)	金額 (円)	数量 (kg)	金額 (円)	数量 (kg)	金額 (円)
令和元年度	19,612,905	3,960,198,743	1,694,690	1,866,086,670	21,307,595	5,826,285,413
令和2年度	18,323,820	3,745,165,126	1,224,004	1,306,985,274	19,547,824	5,052,150,400
令和3年度	18,203,278	3,696,344,463	1,208,473	1,293,587,327	19,411,751	4,989,931,790

※ 消費税及び地方消費税は除く 合計は端数処理後計算

4 買受人市町村別一覧表

(令和4年4月1日現在)

	市町村名	件数
青 果	仲卸業者	5
	川越市	32
	狭山市	8
	坂戸市	7
	飯能市	8
	鶴ヶ島市	3
	日高市	3
	毛呂山町	3
	越生町	2
	その他	64
	小計	135
水産	仲卸業者	9
	川越市	3
	坂戸市	1
	その他	9
	小計	22
	合計	157

5 青果・水産物出荷業者都道府県別一覧表

(令和4年4月1日現在)

都道府県	青果物	水産物	都道府県	青果物	水産物
北海道	4	31	滋賀県	0	1
青森県	1	15	京都府	2	2
岩手県	0	7	大阪府	2	11
宮城県	1	0	兵庫県	2	0
秋田県	1	44	奈良県	0	0
山形県	0	2	和歌山県	8	1
福島県	5	8	鳥取県	0	7
茨城県	14	18	島根県	0	4
栃木県	1	3	岡山県	0	1
群馬県	9	3	広島県	1	8
埼玉県	194	36	山口県	0	12
千葉県	8	45	徳島県	0	1
東京都	18	98	香川県	0	2
神奈川県	1	12	愛媛県	1	5
新潟県	4	7	高知県	1	1
富山県	0	4	福岡県	1	10
石川県	0	3	佐賀県	0	3
福井県	0	2	長崎県	2	5
山梨県	2	1	熊本県	1	3
長野県	0	0	大分県	0	3
岐阜県	1	3	宮崎県	0	1
静岡県	2	34	鹿児島県	4	5
愛知県	5	8	沖縄県	0	0
三重県	0	8	合計	296	478

川越都市開発 株式会社

1 会社の概要

会社名 川越都市開発株式会社

所在地 協田町 105 番地

設立年月日 昭和 62 年 10 月 31 日

出資者 ○川越市 ○株式会社丸広百貨店
○東武鉄道株式会社 ○武州ガス株式会社
○株式会社埼玉りそな銀行 ○株式会社みずほ銀行
○株式会社三井住友銀行 ○野村ホールディングス株式会社
○川越商工会議所 ○権利者 32 名
損害保険ジャパン株式会社 三井住友海上火災保険株式会社
株式会社佐藤総合計画

○印は発起人

2 主な事業内容

- ① 市街地再開発事業により建築された建築物アトレビルの管理及び運営
- ② 土地、建物並びに付帯設備の売買、賃貸借、仲介及び管理業務
- ③ 店舗の販売促進に関する企画、調査、研究及び指導
- ④ 川越市が設置する公共施設の管理、運営に関する受託業務